

ツアー番号
LK5JT2GDQX

栄光のセイロン（13日間）

13日間・12泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

このツアーは13日間でスリランカの古典的な周遊コースを走破します。西海岸から文化三角地帯の古代都市を経由して、山岳地帯へ、南東の野生動物公園を通り、南海岸に沿って進み、コロンボで終了します。移動ペースは緩やかで、ほとんどの地域で2泊以上の滞在となり、考古遺跡、寺院、紅茶の産地、2つの国立公園でのサファリ、そして海辺と川でのアクティビティを組み合わせています。

旅行者は1つのテーマを深掘りするのではなく、島が提供する幅広いサンプルを体験できます。アヌラーダプラやポロンナルワなどの廃墟の都市、キャンディの歯の寺院、エラとハプタレ周辺のハイキングと展望台、ヤラとミンネリヤでのヒョウとゾウのサファリ、ベントタ周辺のビーチと川の時間を経験してから、コロンボでの最後の夜を過ごします。家族やスリランカの景観と歴史の全範囲を1回の旅で体験したい人に最適です。

プライベート車両での移動が全行程で行われ、経験豊富なシャフェール・ガイドが遺跡間を移動し、ツアー全体を通してグループと共に過ごします。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ

ツアーは西海岸のネゴンボから始まります。ここは古くから漁業が盛んなビーチタウンです。



ネゴンボ・ビーチ

ネゴンボの砂浜でくつろぎながら、何世紀も続く伝統的な漁業の様子を見学しましょう。アドレナリン全開のウォータースポーツも楽しめます。

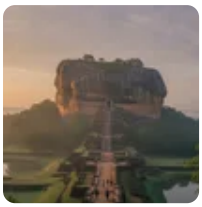
AI生成画像・実際の写真ではありません

ダイビングと沈没船

サンゴ礁と海中生物の中を泳ぎ、沖合に沈む築50年の沈没船では、今では多種多様な魚たちの住処となっている様子を観察できます。

2日目 ネゴンボ → ヤーパフワ → アヌラーダプラ

ルートは内陸のカルチュラル・トライアングルへと向かい、13世紀の岩山要塞に立ち寄った後、スリランカにおける仏教発祥の地アヌラーダプラへ到着します。



ヤーパフワ

この岩山要塞は13世紀に政庁が置かれた場所で、かつては仏歯寺(仏歯の聖遺物を祀る寺院)としても機能していました。装飾が施された入口の階段とアーチを見学し、頂上の遺跡やテラスを歩きながら、各所に点在する精巧な彫刻にも注目しましょう。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ミヒンタレー

デーワーナンピヤティッサ王が僧侶マヒンダと出会い、スリランカに仏教が伝来するきっかけとなった場所を訪れます。山麓に残る僧院の遺跡、マヒンダが滞在した洞窟、そしてアンバスタラ・ダーゴバやマハー・ストゥーパといった歴史的な仏塔を見学します。

Dennis Sylvester Hurd · CC0

3日目 アヌラーダプラ

10世紀まで1000年以上にわたりスリランカの首都であったアヌラーダプラの遺跡を、丸一日かけて巡ります。

アヌラーダプラ遺跡

広大な古代都市に点在する仏塔、僧院建築、池の跡を歩いて回ります。主な見どころには、かつて古代世界で最も高い建造物のひとつであったジェータワナーラーマ、スリー・マハー菩提樹、そして巨大なアバヤギリ僧院の遺跡が含まれます。

4日目 アヌラーダプラ → ポロンナルワ

スリランカの二番目の古都ポロンナルワを訪れた後、象を探すサファリへと向かいます。

ポロンナルワ遺跡

10世紀から13世紀にかけて栄えたこの都市の遺跡を歩いて巡ります。見どころには、ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮池、ランカティラカ寺院、そしてポロンナルワの黄金時代とされる治世を築いたパラークラマバーフ王の像などがあります。



ミンネリヤ国立公園サファリ

ミンネリヤ国立公園をサファリ車で巡ります。5月から10月の乾季には、「象の大集合(グレート・エレファント・ギャザリング)」と呼ばれる現象が起こり、150頭を超える象が一箇所に集まることもあります。公園内の低木林や森林には、その他の哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類も生息しています。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

5日目 ポロンナルワ → ダンブッラ → マータレー → キャンディ

紀元前1世紀に遡る石窟寺院を訪れた後、キャンディへ向かう途中、マータレー近郊のスパイスガーデンに立ち寄ります。



ダンブッラ石窟寺院

紀元前1世紀にまで遡る黄金寺院ダンブッラの洞窟へ入り、仏陀の生涯を描いた古代の壁画や、神聖なる王の洞窟、偉大なる王の洞窟をはじめとする5つの主要な洞窟に点在する数百体もの仏像やその他の神々の像を見学します。洞窟群から少し離れた場所には、巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

ユーフォリア・スパイス&ハーブガーデン

スリランカのスパイスの都として知られるマータレー近郊にあるこの庭園では、香り豊かな熱帯の木々の木陰で、スパイスやハーブがその本来の性質を保てる気候のもとで栽培されています。ガイド付きのスパイスツアーでは、植物についてやアーユルヴェーダの活用法について、複数の言語で説明を受けられます。

6日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

キャンディの仏教聖地と紅茶農園を訪れた後、高原リゾート地ヌワラエリヤへと登っていきます。



仏歯寺

このユネスコ世界遺産は、仏陀の聖なる歯を安置し守るため16世紀に建てられました。赤、クリーム色、黒で彩られた通路やホールを歩きながら、彫刻が施された柱や黄金の仏像を見学します。

A.Savin · FAL

紅茶工場と茶園

実際に稼働している紅茶工場と茶園で、セイロンティーの製造工程を見学します。紅茶は1824年に中国から初めてセイロンへ持ち込まれ、ペラデニヤの王立植物園に植えられました。その後、1852年からイギリス人入植者ジェームズ・テイラーがキャンディ近郊のルールコンデラ農園で商業栽培を始めました。



ヌワラエリヤの町

19世紀から20世紀初頭にかけて、イギリス人にとって最高の高原リゾート地であったヌワラエリヤには、今もなお当時のコテージや趣あるヴィラ、邸宅が通りに並んでいます。赤レンガ造りの古い郵便局を見学し、クイーンズ・ビクトリア・パークやグレゴリー湖畔でのんびりとくつろぎましょう。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

7日目 ヌワラエリヤ

ヌワラエリヤ近郊に広がる高地草原の保護区、ホートン・プレーンズ国立公園を訪れる一日です。



ホートン・プレーンズ国立公園

高地草原と雲霧林を歩き、ワールズ・エンドの断崖やベーカーズ・フォールズの滝しぶきを体感します。この平原には多くの固有種が生息し、考古学的な発見もなされています。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

8日目 ヌワラエリヤ → エラ → ハプタレー → ヤーラ

高原地帯の美しい景色はエラやハプタレーを経て続き、一日の終わりにはヤーラ近郊へと到着します。



リトル・アダムスピーク

エラ近郊の鮮やかな緑の茶畑と岩がちな地形を歩き、リトル・アダムスピークを望みます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナイン・アーチ橋

この橋の建設にまつわる物語を聞きながら橋を渡った後、珍しいループ構造の線路で知られるデモダラ駅へと向かいます。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



リプトンズ・シート

ハプタレー近郊にある、スリランカで最も有名な展望スポットのひとつで、ウバ州、サバラガムワ州、中央州、東部州を一望できます。

Kapidis (talk). The original uploader was Kapidis at English Wikipedia. · CC BY-SA 3.0

アディシャム・バンガロー

1900年代初頭に建てられたテューダー様式の邸宅で、敷地内を散策することができます。

セント・アンドリュース教会

ハプタレーにあるネオゴシック様式の教会で、その墓地には多くの英国人紅茶農園主が眠っています。

9日目 ヤーラ

南東海岸に位置するヤーラ国立公園でのサファリを楽しむ一日です。



ヤーラ国立公園サファリ

ヤーラはスリランカで二番目に大きな国立公園で、スリランカヒョウ、野生のスイギュウ、スリランカナマケグマ、大規模な象の群れをはじめ、その他多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、無脊椎動物が生息することで知られています。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

10日目 ヤーラ → ゴール → ベントータ

ルートは南海岸へと移動し、古い城塞都市ゴールとウミガメ保護プロジェクトを訪れながらベントータへ向かいます。



ゴール・フォート

かつてポルトガルやオランダの拠点であった、アジア屈指の保存状態を誇る要塞都市ゴール・フォートを探訪します。海事博物館、ゴール国立博物館、灯台を見学し、オランダ語由来の名前が残る石畳の通りを歩きましょう。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0



コスゴダ・タートル・ハッチェリー

スリランカの海岸に産卵に訪れる5種の絶滅危惧ウミガメについて学び、コスゴダ・タートル・ケア・プログラムが孵化率向上のために卵を保護する取り組みを知ることができます。訪問者は赤ちゃんウミガメを見たり触れたり、餌をあげたりすることができるほか、保護されているけがをした成体のウミガメにも出会えます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

11日目 ベントータ → バラピティヤ → ベントータ

マドゥ川でのボート遊覧を中心に一日を過ごし、有名なフィッシュマッサージにも立ち寄ります。



マドゥ川ボートクルーズ

マングローブが生い茂る川の水路を進みながら、日向ぼっこをするワニやミズオオトカゲ、水鳥たちを観察します。途中、住民がシナモンを収穫している小さな島にも立ち寄ります。

SUPindia · CC BY-SA 4.0

フィッシュマッサージ

川の遊覧中に、フィッシュマッサージの癒やしの効果を体験しましょう。

12日目 ベントータ → コロンボ

ツアーの海岸沿いの行程は、首都コロンボでの一日で締めくくられ、歴史的な側面と商業的な側面の両方を楽しみます。



コロンボ市内観光

オールド・ライトハウス、旧国会議事堂、ゴールフェイス・ホテル、ゴールフェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館などの歴史的建造物を訪れます。独立記念広場のショップやレースコース、さまざまなブティックやデザイナーズストアを巡る時間も設けられています。

Gihanud2001 · CC0

13日目 コロンボ → 空港

朝食後、チェックアウトをして空港へ向かい、出発となります。これにてツアーは終了です。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation.
- Entry Visa Fees
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.